

インフォシス DigitizeEdge、Orange IPTV 視聴者を夢中にさせる新たな体験を生み出す

バンガロール/パリ（2014年4月23日）：本日、インフォシスは Orange 社の IPTV サービスにおいて現実さながらの引き込まれるような新しい顧客体験の提供に向けた同社との戦略的パートナーシップを発表しました。インフォシスは同社の Livebox Play™ に種類豊富な対話式 TV アプリケーションを提供することになります。

提供される TV アプリケーションは、テレビ会社、メディア企業、広告主やコンテンツ作成会社向けの統合デジタル資産および体験プラットフォームであるインフォシス DigitizeEdge で動作します。インフォシスはこのクラウドベースのプラットフォームを利用して世界中の一流コンテンツ・プロバイダーやブランドのオンボーディングを図ります。DigitizeEdge を使用することで Orange 社は TV アプリケーションを通して豊富な動画を駆使したライフスタイル中心の幅広い OTT コンテンツ サービスを提供し、視聴者の体験および同社のテレビ放送と視聴者の対話を充実させることができます。このプラットフォームは Orange 社のフランスの視聴者向けにコンテンツをカスタマイズします。

ハイライト

- インフォシス DigitizeEdge を使用することで、企業は、スマート（コネクテッド）TV、タブレット、スマートフォン、PC および車載インフォテインメントシステムなどの多様なデバイス上で視聴者を夢中にさせるアプリケーションチャネルを簡単に立ち上げることができます。
- 同プラットフォームは OTT サービスの収益化や新たな収益源の創出にも有用です。
- 同プラットフォームはあらゆるテレビおよびセカンド・スクリーン・アプリケーションの動画や対話式特性とテレビ視聴パターンとの同期を可能にします。
- インフォシス DigitizeEdge は、マルチスクリーン消費者体験、サービスデリバリーやデジタル資産変革などのデジタル・バリューチェーン全体をサポートするモジュール機能を提供します。
- また、セルフサービス管理コンソールと共に、的を絞ったパーソナライゼーションや提案、分析およびパートナー・コラボレーションを提供し、収益創出イニシアチブを加速させます。
- インフォシス DigitizeEdge は広告代理店やブランドに加え Popular Science、Motor Trend、Space.com、Visible Body、Entrepreneur、Wright's Media などの世界トップのデジタルメディア企業と提携しています。
- これらの提携関係により、テレビ会社による視聴者向けの現実さながらの革新的体験の創造を可能にするコンテンツ・プロバイダー、広告ネットワーク、消費者ブランドおよびマーケターのユニークなバリューチェーンが創り出されます。

コメント

インフォシス エネルギー 及び テレコム 事業部門 グローバルヘッド Rajesh K. Murthy

「テレビをインターネット・コンテンツ・サービスと統合することで Orange 社は顧客に素晴らしい体験を提供できるようになります。当社は通信業者やケーブル会社に加え従来の有料テレビ放送プロバイダーが既存のテレビでウェブベースのサービスを提供しようとしているのを目にしています。当社のソリューションは、視聴者への優れた体験の提供とサービスプロバイダーにとっての新たな収益機会の創出に向けて、デジタル・バリューチェーンの複数のコンテンツ関係者を結集します。」

参考資料

- [インフォシス The Cable Show](#) に出席
- [インフォシスの通信サービス業務](#)

インフォシスについて

インフォシスはビジネスコンサルティング、テクノロジー ソリューション、アウトソーシング ソリューションのグローバルリーダーです。当社は 30 か国以上の国々のお客様が最新のビジネストrendよりも一歩先を進み、競合他社をしのぐ活躍ができるように支援を提供します。また、戦略的インサイトと卓越した実行力を融合させた革新的なソリューションを共同創造することで、お客様が移り変わりの激しい世界に対応し、成長できるようにサポートします。

www.infosys.com を訪れ、年商 82.5 億ドル、従業員数 16 万人以上のインフォシス(NYSE: INFY) が今日どのように未来企業を構築しているかお確かめください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度(2013 年 3 月 31 日付)年次報告書(Form 20-F)と 2013 年第 3 四半期(2013 年 10 月 - 12 月期)(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合があります。また、ここに記載された将来の展望は、冒頭に記載された本プレスリリースの日付時点において妥当と思われる想定に基づいていることをご了承ください。当社は、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。